

フェーン・異常高温緊急情報(第1号)

令和5年8月8日
新潟県農林水産部

**8月9日から11日にかけて、台風6号による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。
イネを高温障害から守るため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。**

【気象の見込み】

- ◎ 新潟地方気象台が8月7日14時30分に発表した「2週間気温予報」では、10～11日の最高気温は37～38℃、最低気温は28～29℃と予想され、10日の最低気温は30℃を超える恐れがあります。
- ◎ まとまった降水がしばらく期待できない状況であり、台風の進路によっては、9～11日にかけてフェーン現象による異常高温と乾燥が発生する恐れがあります。

【当面の管理対策】

- ◎ コシヒカリは、出穂後の高温に対する感受性が最も高い時期、新之助は出穂盛期となっており、最も水を必要とする時期を迎えます。
- ◎ 土壌表面に水がない状態でフェーン等の異常高温に遭遇すると品質が大きく低下します。高温障害による被害を軽減するため、速やかにかん水し、地温の上昇を抑えましょう。
- ◎ 地域の用水の供給状況を確認して、地域全体に用水が行き渡るよう、異常高温が発生する前から、かん水を始めてください。こまめに水回りを行い、水が行き渡ったら速やかに水口を止めてください。湛水深は可能であれば2～3cmとします。ただし、長期間の湛水は根の機能低下を招くので避けましょう。
- ◎ 早生品種は登熟初期に高温に遭遇しており、胴割粒の発生リスクが高い状態です。刈遅れによる品質低下を防ぐため、地域の技術情報を参考に、適期収穫に努めてください。

農業用水は限りある資源です。地域全体で大切に使いましょう。